

平成30年三重県議会定例会

医療保健子ども福祉病院常任委員会

説明資料

| | 頁 |
|--|---|
| 【 所管事項説明 】 | |
| 1 こころの医療センター及び一志病院の取組状況について | 1 |
| 2 津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等に関する津市との協議状況について | 8 |

平成30年12月12日

病院事業庁

【所管事項説明】

1 こころの医療センター及び一志病院の取組状況について

病院事業庁では、国・県の医療政策の動向や県立病院を取り巻く環境の変化、県立病院に求められる役割・機能を踏まえて、それぞれの県立病院が県民の皆さんの求める医療を着実に推進するとともに、健全な病院運営を行っていただけるよう、平成29年3月に三重県病院事業中期経営計画を策定（平成30年3月に改訂）し、各取組を進めているところです。

こころの医療センター及び一志病院の平成30年度の主な取組の状況は、次のとおりです。

1 こころの医療センターの取組状況

こころの医療センターは、精神科救急・急性期医療等の政策的医療や、認知症治療、アルコール依存症治療等の専門的医療を提供するとともに、デイケアプログラムや訪問看護の充実など地域生活支援に向けた取組を積極的に進め、入院から退院、在宅まで切れ目のない治療を提供しています。

また、4月に院長をトップとする「経営改善プロジェクト」を設置し、経営改善に向けた取組や将来の病棟機能のあり方の検討を行っています。

(1) 精神科救急・急性期医療の提供

三重県精神科救急医療システムの支援病院として、休日・時間外等の救急患者の受入れに対応するとともに、自傷・他害のおそれがある場合に実施する措置鑑定診察にかかる保健所からの要請に対して積極的に受入れを行っています（実績44件）。

また、急性期の入院患者について、症状の重い患者が多く閉鎖病棟の円滑な病床運用が難しい中、できる限り早期に退院できるよう、入院時から退院を視野に入れて患者の状況に応じた医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士などの多職種による医療の提供や支援を行っています。

| 目標項目 | | |
|----------------|--------|------------|
| 精神科救急患者受入件数（件） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30.10月末実績 |
| 258 | 230 | 167 |

(2) 専門的医療の提供

① 認知症治療

専門外来（もの忘れ外来）と専門病棟（認知症治療病棟）による切れ目のない効果的な治療を提供するとともに、他の医療機関や介護サービス事業所などの関

【所管事項説明】

係機関との連携も行っています。また、認知症疾患医療センターとして、家族等からの相談にきめ細かに対応するとともに、保健・医療・福祉等の関係者を対象とした認知症に関する研修会（7月）を開催するなど、積極的に認知症治療に関する普及啓発を進めています。

| 目標項目 | | |
|---------------|--------|-------------|
| 認知症入院患者数（人／日） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30.10 月末実績 |
| 34.5 | 40.0 | 32.7 |

②アルコール依存症治療

アルコール依存症治療病棟を有する県内唯一の医療機関として、専門性の高いプログラムを用いた入院治療を提供するとともに、アルコールデイケアサービスの提供や家族等を対象とした研修会の開催（家族研修会 14 回）などを通じて、断酒の継続を支援しています。

また、一般病院で治療を受けているアルコール依存症患者が、当該病院から紹介を受け、当院の専門的な依存症治療を受けられるよう、一般病院との連携に取り組んでいます。

さらに、施設訪問、企業訪問及び説明会を行い、依存症に関する相談に応じるなど、アルコール依存症治療の普及啓発にも取り組んでいます。

アルコール依存症患者については全国的に減少傾向にあり、当院においても減少しておりますが、引き続き、一般病院との連携や普及啓発を実施し、患者の確保に努めていきます。

| 目標項目 | | |
|--------------------|--------|-------------|
| アルコール依存症入院患者数（人／日） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30.10 月末実績 |
| 25.8 | 30.0 | 24.3 |

③精神科早期介入・早期予防

院内に設置しているユース・メンタルサポートセンターM I E（YMSC-MIE）において、若年層やその家族等からの相談に対応し、必要に応じて院内の若者支援専門外来（YAC）につなげるなど、保健所や学校などの関係機関と連携を図りながら、切れ目のない対応を進めています。

また、メンタルヘルスに不調を抱える若者をもつ家族を支援するための早期家族プログラムを企画し、病院スタッフによる情報提供や家族同士の情報交換の場を提供しています。（4月から10月まで毎月1回実施（5月を除く））

【所管事項説明】

引き続き、早期介入・早期予防に向け、YMSC-MIEに関する取組の情報発信に努めていきます。

| 目標項目 | | |
|----------------|-------|------------|
| 精神科早期介入対応件数（件） | | |
| H29実績 | H30目標 | H30.10月末実績 |
| 213 | 200 | 100 |

（3）地域生活を支えるための支援

①デイケアサービス

外来患者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、患者の日常生活や就労面での支援として、患者の生活能力等向上のための多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供しています。

多様化するニーズに応え、より多くの方にデイケアサービスを提供できるよう、引き続き、プログラムの見直しを定期的に行っていきます。

| 目標項目 | | |
|---------------------|--------|------------|
| デイケア・ショートケア延べ患者数（人） | | |
| H29実績 | H30目標 | H30.10月末実績 |
| 14,446 | 18,000 | 7,552 |

②訪問看護サービス

患者の在宅療養が継続できるよう、訪問看護サービスを提供しています。この訪問看護サービスについては、患者の状況に応じて、看護師と作業療法士や、複数の看護師により実施するなど、効果的な手法も取り入れて対応するとともに、退院後にスムーズに訪問看護が実施できるよう退院前訪問も行っています。

| 目標項目 | | |
|--------------|-------|------------|
| 訪問看護延べ患者数（人） | | |
| H29実績 | H30目標 | H30.10月末実績 |
| 4,824 | 5,000 | 2,702 |

（4）人材育成の充実

県内の精神科医療水準の向上に寄与するため、院内の受入体制の充実を図りながら、多くの研修医や看護実習生等（医師・医学生：206人、看護実習生：1,039人、精神保健福祉士：48人、作業療法士等：192人）（延べ人数）を受け入れています。

【所管事項説明】

| 目標項目 | | |
|---------------------|--------|------------|
| 研修医・看護実習生等受入延べ人数（人） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30.10月末実績 |
| 2,391 | 2,200 | 1,485 |

（5）経営改善プロジェクト

①経営改善への取組

4月から緊急患者の受入れの徹底を図るとともに、経営改善プロジェクトの中に医師を含む多職種の職員で構成するタスクフォースを結成し、9月末までにアクションプランを取りまとめ、実施可能となったものから順次取り組んでいます。

＜アクションプランの主な取組＞

- ・ 外来予約枠に紹介患者を優先的に診察する地域連携枠を設定（10月～）
⇒クリニック等の紹介元との連携を強化し、緊急性の高い患者に速やかに対応することで入院患者の確保を図る。
- ・ 入院患者の帰来先の開拓（継続）
⇒入院患者の退院を促進するため、障害福祉サービス事業所等と連携を行う。
- ・ 再入院防止プログラムの作成（11月完成）
⇒退院後の安定した地域定着を図るため、個々の患者について再入院となった原因を分析し、多職種で問題解決に向けた取組を行う。
- ・ 病床管理の仕組みの見直し（11月～一部実施）
⇒緊急性の高い患者を受け入れるため、転棟の仕組みをルール化し、閉鎖病棟の空床確保を図る。
- ・ 入院中患者の事前のデイケア見学による利用促進（10月～）
⇒退院後のデイケアへの移行を円滑にし、利用患者の確保を図る。

②将来の病棟機能検討

国の精神科医療政策の動向や患者ニーズ、さらに県立病院としての役割を見据え、病棟機能の再編について採算性や看護体制等を考慮しながら検討を行っています。

【所管事項説明】

2 一志病院の取組状況

一志病院は、幅広い臨床能力を有する総合診療医を中心とした医療サービスを安定的に提供するとともに、診療圏の地域包括ケアシステムの構築に寄与するため、保健・医療・福祉の多職種による事例検討会やシンポジウム等を開催しています。また、地域医療を担う人材を育成するため、初期研修医や医学生、看護実習生等を積極的に受け入れるとともに、三重県プライマリ・ケアセンターへの支援も行っています。

(1) 地域医療の推進

①在宅療養支援

地域のあらゆる医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践する中で、通院が困難な患者に対して、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援を積極的に推進するなど、きめ細かな医療サービスの提供を進めています。

また、多職種連携の取組で築いた顔の見える関係を生かし、地域の診療所や介護施設、保健師やケアマネージャー等とも連携しています。

| 目標項目 | | |
|--------------------|--------|--------------|
| 訪問診療、訪問看護等延べ患者数（人） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30. 10 月末実績 |
| 4,493 | 4,000 | 2,852 |

②救急医療

白山消防署との合同勉強会（10月）の開催や救急ホットライン（医師との直通電話）の活用等により、消防機関や診療所等との密接な連携を図りながら、総合診療医を中心とした24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献しています。

| 目標項目 | | |
|-------------|--------|--------------|
| 救急患者受入件数（件） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30. 10 月末時点 |
| 1,265 | 1,000 | 664 |

③医療過疎地域への支援

へき地医療拠点病院として、県内のへき地診療所へ代診医を派遣しています。また、津市美杉地域の診療所に対して医師を派遣するなど、津市への支援を行っています。

【所管事項説明】

| 目標項目 | | |
|------------------|--------|--------------|
| 医療過疎地域等への支援件数（件） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30. 10 月末実績 |
| 6 | 7 | 5 |

④関係機関等との連携

地域包括ケアシステムの構築が求められている中、多職種の関係者が参画する「美杉・白山・一志 保健医療福祉連携会議」の開催や、事例検討会等を通じて多職種連携の体制を強化する「美杉・白山・一志 顔の見える会」の取組を支援するなど、地域内関係者のネットワークの構築を図っています。

| 目標項目 | | |
|-----------------|--------|--------------|
| 多職種連携による取組件数（件） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30. 10 月末実績 |
| 32 | 30 | 23 |

(2) 人材育成の充実

①総合診療医の育成

三重大学を中心に取り組んでいる総合診療医の育成に対応する拠点病院として、初期研修医（延べ 36 人）や医学生（延べ 271 人）を積極的に受け入れ、同大学との密接な連携を図りながら実践的な研修を実施するなど、県内において総合診療医を育成するための中心的な役割を担っています。

| 目標項目 | | |
|--------------------|--------|--------------|
| 初期研修医・医学生受入延べ人数（人） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30. 10 月末実績 |
| 630 | 600 | 307 |

②看護実習生等の受入れ

地域で貢献できる人材の育成を図るため、看護や介護の実習生を積極的に受け入れ、実践的な研修を行っています。

| 目標項目 | | |
|-----------------|--------|--------------|
| 看護実習生等受入延べ人数（人） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30. 10 月末実績 |
| 348 | 330 | 261 |

【所管事項説明】

(3) プライマリ・ケアセンターへの支援

各地域でプライマリ・ケアを实践できる医療従事者等を育成する三重県プライマリ・ケアセンターの機能が十分に発揮されるよう、訪問薬剤に関する研修会（5月）やプライマリ・ケア エキスパートナース研修会（7月）の開催等に対して、積極的に支援を行っています。

| 目標項目 | | |
|--------------------|--------|------------|
| プライマリ・ケア研修会開催件数（件） | | |
| H29 実績 | H30 目標 | H30.10月末実績 |
| 3 | 3 | 1 |

【所管事項説明】

2 津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等に関する津市との協議状況について

1 ワーキンググループでの協議状況について

昨年度、県、津市、三重大学の三者による「津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等に関する検討会」で、津市から提案のあった12の具体的な取組を実現するため、今年度4月に設置しました県と津市の実務者レベルのワーキンググループ（以下「WG」という。）の協議状況について報告します。

WGでは、12の具体的な取組のうち、津市が早期実施を目指す事業を中心に協議を行いました。

なお、県の当初予算編成時期を見据えて、早期実施を目指す事業については、10月末を目途に協議を行ってきましたが、協議の結果、早期実施が難しくなったことから、各取組の協議を引き続き行っているところです。

【主な協議内容】

| 項 目 | | 協 議 状 況 (11月末現在) |
|-----|-----------------------------|--|
| 1 | 地域包括支援センター (以下「地包C」という。) | <ul style="list-style-type: none">・医療と福祉の連携強化を図るため、当初は一志病院内への設置を目指して、具体的な設置場所の検討を行った。・検討する中で、病院利用者とは別に出入口や通路などの動線を確認する必要性から、新たにエレベーターの設置や別棟の新築などが必要となり、高額な改修費用が見込まれることから、院内設置は難しい状況にある。・そのため、院内設置以外の連携策を引き続き検討を行う予定。 |
| 2 | 認知症初期集中支援チーム | <ul style="list-style-type: none">・地包Cの院内設置が難しい状況にあることから、改めて事業実施に向けた事業内容等を検討中。 |
| 3 | 認知症地域支援推進員 | |
| 4 | 訪問看護ステーション (以下「訪看S」という。) | <ul style="list-style-type: none">・当初は、地包Cに併設する想定でしたが、地包Cの院内設置が難しい状況にあることから、訪看Sを単独でも院内に設置を進めることで意見がまとまった。・運営事業者の民間誘致を前提に、平成32年度開設に向け、公募条件や一志病院内での設置場所等の詳細を検討中。 |

【所管事項説明】

| 項 目 | | 協 議 状 況 (11 月 末 現 在) |
|-----|-------------------------|---|
| 5 | 病児・病後児保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・一志病院内への病児・病後児保育施設の設置に向け、設置基準や運営条件などを検討し、設置を進める方向で意見がまとまった。 ・今年度、津市で病児・病後児保育施設に関するニーズ調査が予定されていることから、その結果を踏まえ、平成 32 年度の開設に向けて具体的な検討を行う予定。 |
| 6 | 病院及び診療所・福祉施設等とのホットライン構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容及び事業費用の検討を行い、事業内容については意見がまとまった。 ・事業費用の積算について引き続き協議中。 |
| 7 | 病棟看護師等による退院に向けての在宅支援の実施 | |
| 8 | 退院調整カンファレンスによる情報共有、ICT化 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容に関する詳細説明を受けてから、導入に伴う効果やリスクなどの検討を行う予定。 |
| 9 | 市民啓発事業及び地域密着事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業との重複部分の整理を踏まえ、事業内容を検討する予定。 |
| 10 | 生活予防事業の充実・拡充 | |
| 11 | 家庭医療クリニック診療体制強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な協議は今後行う予定。 |
| 12 | 休診時間帯における軽症救急患者の救急車搬送受入 | |

2 今後の進め方について

12 取組の実現に向けて、今年度末を目途に一定の結論を出せるよう、引き続き津市との協議を行います。

津市との協議経過については、3月の医療保健子ども福祉病院常任委員会において報告します。